

## これまでの主な取組と成果・課題 (R4)

### <不登校の未然防止・初期対応に向けた支援体制の構築>

#### 【主な取組】

- ・ SC,SSW等の専門性を活用した支援体制の構築
- ・ 学校と市町村福祉部署との連携
- ・ 一人一台端末を活用した児童生徒理解
- ・ 全小中学校に不登校担当者を校務分掌に位置づけ、組織的な対応を徹底（不登校出現率の多い20校には加配教員を配置）
- ・ 校務支援システムを活用した早期の情報共有
- ・ 不登校支援の校内研修を各校で実施 など

#### 【成果】

- ・ 校内支援会において、SC,SSW等の見立てをもとにした支援方法の決定が定着
- ・ SSWと市町村福祉部署が連携している市町村割合が増加  
R3:91.4% → R4:94.3%
- ・ 「きもちメーター」の登録校数が増加  
R3:80校 → R4:196校
- ・ 加配教員を配置した小学校において、不登校の出現率が減少（9校中7校）

#### 【課題】

- ・ 「きもちメーター」や校務支援システムの効果的な活用
- ・ 校内支援会に福祉部署が参加している市町村割合は半数程度 47.1%（母子保健）58.9%（児童福祉）
- ・ 加配教員配置中学校では、不登校出現率の改善がほぼ見られなかった。

### <不登校児童生徒の自立支援のための環境整備>

#### 【校内サポートルーム設置校の取組】

- ・ 生徒が安心して学べる教室環境を整備
- ・ 1人1台端末を活用し、教室の授業や学校行事の様子をサポートルームに配信 など

#### 【成果】

- ・ 校内サポートルームに通う生徒のうち、47.0%が前年度よりも欠席日数が減少

#### 【課題】

- ・ 校内サポートルームにも登校できない生徒への対応

## 今年度の取組 (R5)

### ① 学校と県・市町村福祉部署との連携強化

- ・ 校内支援会への市町村福祉部署の参加について働きかけを強化
- ・ 福祉部署担当者と学校の教員とが連携した授業・研修の実施

### ② 学習支援プラットフォーム（きもちメーター）や校務支援システムを活用した早期対応の促進

- ・ 効果的な活用事例等を管理職等研修会で周知
- ・ 不登校担当者および養護教諭等に対する、気になる情報をキャッチした後の具体的対応方法についての研修の実施

指定校におけるこれまでの成果と課題をふまえ、地域（8市町、11中学校区）を指定し、同一中学校区での継続的かつつながりのある支援を実施

#### 同一中学校区で実施

### ③ 校区内連携による不登校未然防止、初期対応の取組強化（個別最適な支援をつなぐ校区内連携事業(R5～)）**NEW**

- ・ 児童生徒への個別最適な支援にかかる小小連携、小中連携の担当する教員を小学校に加配（11小学校）

### ④ 校内サポートルームの設置拡充(R4:7校→R5:11校)

- ・ 教室運営コーディネーター教員を配置し、不登校傾向の児童生徒に対して個別最適な学びを確保

### ⑤ 市町村の教育支援センターの機能強化

- ・ モデル地域を指定し、タブレット端末等を活用した児童生徒の学習支援について実践研究（8市町）
- ・ 教育支援センターにおけるICTを活用したオンライン授業等の実施を支援

## 今後の取組

### ★次期教育大綱等の策定に向けて今年度、さらに取組を強化するために検討を進めるポイント

- ・ 不登校特例校などの多様な教育機会の確保策について検討するための**協議会の設置**（第1回 6月20日）

（委員）生徒指導提要改訂協力者会議副座長、大学教授、学校長、市町村教育委員会、教育支援センター、フリースクール、NPO 等

#### 〈協議会における検討事項〉

- ◆ 不登校支援に係る先進地視察で得られた知見や国の方向性をふまえ、不登校の未然防止・初期対応・自立支援のそれぞれの段階における今後の施策の方向性について
- ◆ 不登校特例校の設置促進や、教育支援センターにおけるNPOやフリースクール等との連携
- ◆ オンラインによる広域支援、メタバースの活用
- ◆ 夜間中学や**公民館・図書館等を活用した子どもの多様な学びの場、居場所の確保**について など

#### 参考：国の方向性

「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策『COCOLOプラン』」（文部科学省 令和5年3月）

○不登校により学びにアクセスできない子どもたちをゼロにすることを目指し、

1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたい時に学べる環境を整える
2. 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
3. 学校風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

- ・ 不登校児童生徒が学びや必要な支援につながっているかを把握するために、指定校22校（個別最適な支援をつなぐ校区内連携事業+校内サポートルーム設置校）における**不登校児童生徒や保護者を対象としたアンケート調査の実施**（R5）

反映

#### 〈協議会の意見、アンケート結果の取りまとめ〉

- 協議会で出された意見等を**「第3期教育等の振興に関する施策の大綱」等に反映**
- 協議会で出された意見等のうち、すぐに取り組めるものは速やかに施策に反映
- 協議会の最終取りまとめとして、**「児童生徒の学校以外の場での学びを支援するためのガイドライン」**を作成（R7）